

朝晩の冷え込みが厳しくなり、一限の出席が大変な季節になってきました。
このお便りでは研究室選びや大学院入試、就活などについてまとめていきます！

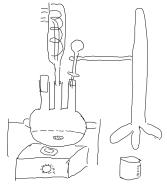
研究室選び

3年生の夏休みくらいから研究室選びが始まる学科が多いです。しかし、研究室を選ぶとなると何を基準に選べばいいのかわからない人も多いと思います。なので、自分の経験から感じたことを数点お伝えしていきます。

その1 研究室の先生と馬が合うか？研究を進めていくにあたって、先生と話す機会が多いからです。実際、その会話から得られるものはたくさんあります。

その2 研究室の雰囲気は自分に合うか？研究室には、コアタイム(研究室に必ずいないといけない時間)やその他にも様々な決まりがあるからです。その研究室で生活する自分をイメージしてみるといいかなと思います。

その3 自分のやりたいことか？実際、研究を進めていくと困難なことによく直面します。そこを乗り越えられるかは、自分の好奇心次第なのではないかなと思うからです。



応用
化学科
4年
男性

大学院に進む予定の学生に向けた就活



専攻
(応用
化学科)
修士1年
男性

まず、就職活動を本格化させる前に将来自分がどんな職業につきたいか、どんな分野の会社に勤めたいか調べておくようにしましょう。これをすることで、就職する際の基準を自分の中で確立させることができ、就職活動をスムーズに進めることができます。加えて、研究室に配属されている学生の場合、内定などをもらった先輩と話してみるのもお勧めです。

これらを踏まえて、おすすめの就活開始時期は、修士1年の夏です。理由は、このタイミングから夏のインターンシップなどが開始しており、早期選考などに直結するものもいくつか存在しているからです。加えて、本選考に向けてエントリーシートや面接・webテストなどへの経験値を貯めることもできます。何より、実際の仕事内容は会社の雰囲気を知ることができる重要な機会です。この際にいろんな企業のインターンシップに参加してみましょう。

大学院入試

大学院入試について最も重要なのは、勉強を始める時期と、過去問です。三年生の1,2月からは大学院入試を見据えて、過去問を集めたり、説明会に行ったりすると良いでしょう。そのあと、志望研究室の見学に行ったり、過去問を集めたりして、6月あたりから過去問演習を始めれば比較的余裕をもって試験に望めると思います！！頑張ってください！



化学物理
工学科
4年
男性

留学にぜひチャレンジしてみよう！

コロナ禍から回復したとまではいきませんが、農工大でも留学プログラムが少しずつ再開されています！私はコロナ禍前ですが、二年生の春休みにインドネシア短期派遣、及び三年後期に半年間の交換留学を経験しました。短期派遣プログラムでは、二週間現地の大学に滞在し、コミュニケーション力を培うことができました。交換留学では、現地学生に交じって授業を受け、現地に住むことで「海外で活躍する力」を身に付けることができました。短期プログラムや交換留学の申し込みには、申請書の作成、TOEICなどの証明書の提出が必要となる場合が多いです。説明会への参加、奨学金の問い合わせ、疑問点があれば早めに動きましょう！



機械
システム
工学専攻
修士2年
男性

学部生に向けた就活

B4の就活において、おすすめな就活開始時期は3年生の夏からです。

インターンシップには積極的に参加し、早期選考を受けるのが理想です。また、就職エージェントを用いると履歴書やESを添削してもらったり、面接の練習ができて良いと思います。



化学物理
工学科
4年
女性

いかがでしたか？学習相談室ではこのようなお悩みにも先輩が詳しく答えてくださいます。ぜひお越しください！

「学習相談室」は、農工大のいろいろな学科の先輩方に、みなさんの疑問や不安を相談できる場所です。履修のことや試験のことなど、同じ学科の先輩に相談してみませんか？メール・オンライン・対面で相談可能です。毎週水曜日12:00～13:00 @L0014教室 メール(学習相談室): shugakushien@m2.tuat.ac.jp またはQRコードから

